



響け 橘の歌声



【県警のイベントに賛助出演した合唱部(後段2列)】

発行
福島県立
橘高等学校同窓会
(福島女子高等学校同窓会)

発行人
藤田 美智子

発行所
福島市宮下町7-41

会員数
39,890名
(2025.3 現在)

母校創立127年



新しい世代へのバトンを

同窓会会長 藤田 美智子
(昭和47年卒)

昨年十一月に第一回学年幹事会を開催し、来年度の総会と懇親会のもち方について協議しました。そのなかで、昭和三十五年卒の方から「かつては母校の音楽室などを借りて開催していた。その後は市民会館などを使用していたが、会場設営など大変だった。そうした苦勞も重ねながらホテルを会場として開催するようになった」と、これまでの経過についてのお話がありました。そうした、かつての先輩方の歩みをあまり知らずにおりましたので、この機会にと、同窓会に保管されていた昭和四十二年発行からの「同窓」を読み返しました。「総会・懇親会をより充実したもの」「母校支援も含めた周年行事を」など、活動に関わってこられた先輩方の熱い思いを紙面から知ることができました。

しばらくして、今後の活動について先輩の一人と話をするなかで、次のような助言をいただきました。「新しい世代にバトンタッチしていくにあたり、変えるべき

を変えていくことにはためらいはいらない。知恵を出し合って、誰もが参加しやすいかたちを模索していくことが大切」だと。

その言葉に、背中を力強く押していたいただいた思いがしました。次の総会に向けては、学年幹事の方々の負担を少なくするために、当番学年にあたる皆様には、この会報にお知らせと振込用紙を同封させていただくことといたしました。また、総会後の懇親会は同窓生によるシャンソンを聴きながらの茶話会として交流を深める場にしたと考えています。

同窓会の活動につきましては、これからもより良い会をめざして「世代を超えてつながる同窓会」「互いに高め合う同窓会」を合い言葉に一歩ずつ歩みを進めていきたいと思えます。各支部の皆様はじめ日頃から同窓会活動にご助力いただいている皆様方に、心よりお礼を申し上げますとともに、今後のご協力をよろしく願っています。

麗しき同窓の絆

校長 菊池 直之



同窓会の皆様には日頃より、本校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。同窓会総会等の折りに触れて、創立百二十七年の歴史の重みと皆様の母校への溢れる愛情と大きな期待をいつも感じております。さて橘高校は、これまで三万九千有余名の優秀な人材を輩出して参りました。本校に学んだ同窓生は、地元福島はもとより全国各地各界で広く活躍され、社会の繁栄と発展に大きな貢献をされております。福島県教育庁に教育総務課という部署がありますが、課長は歴代、文部科学省から出向されております。そして今年度からは、橘三期生である榎木渉さんが課長を務められています。十一月に「一年生対象の進路行事」キヤリアガイダンスがありました。榎木課長を講師として招聘しました。高校時代は野球部に所属していた榎木課長は、元々の教員志望から文科省に入省して官僚になられた経緯や、高校生へのアドバイスなどを分かりやすく丁寧にお話しされ、生徒たちにとっては大いに刺激になりました。榎木課長を始め、各界の第一線でご活躍される同窓生の皆様の存在は、本校にとっての大きな誇りです。

ところで本校は、県立高等学校普通科における特色あるコース制として、令和四年度から「教育コース」と「保健・医療コース」の二つのコースが立ち上がり、今年度で三年目になります。将来、教員や医療従事者を目指す生徒が多くなります。そして現在本校には、福女と橘の卒業生である教職員が数多く勤務しております。生徒たちにとって、身近に目標となる先輩がいるのは大きな励みであり、先輩たちもやりがいを感じていると思います。

生徒たちは、学業や部活動等に日々全力で取り組み、光り輝く姿を見せてくれています。生徒たちの活躍を縁の下で支えながら、校訓「自主・自律・自立」の精神を兼ね備えて社会に貢献できる人材を育成することが、本校に課せられた使命です。今後とも会員の皆様の変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2回 橘セミナー開催

認知症は神様からの贈り物

講師 渡邊多佳子さん



令和六年九月十日(火) 午後一時三十分より、同窓会館で第二回橘セミナーを開催しました。講師に昭和五十七年卒の、神経内科医師渡邊多佳子さんをお迎えして、「認知症は神様からの贈り物」との演題でお話していただきました。現在の高齢化社会の中で、認知症が増えている状況で、とても興味深い講演でした。参加した四十名の皆さんからも、学ぶことがたくさんあり、とても良かったという感想が多く寄せられました。

第3回「橘セミナー」のご案内

演題 「和菓子の愉しみ」
講師 菅野翔太郎さん(平成20年卒、福島市在住)
松屋清風庵 四代目
日時 令和7年10月8日(水)
午後1時30分~午後3時
場所 橘高校 同窓会館 大会議室
定員 40名(7月末まで先着順)
参加費 500円当日持参(和菓子付き)

参加ご希望の方は往復はがきに、氏名・卒年・住所・電話番号・「橘セミナー参加希望」と記入の上、下記宛にお送りください。

〒960-8011 福島市宮下町7-41
橘高校同窓会宛

日本民俗音楽学会で基調講演



基調講演をされる小島先生

昨年十二月十五日、「日本民俗音楽学会第三十七回出席大会」において、学会顧問の小島美子先生(国立歴史民俗博物館名誉教授・昭20卒)が、「神います出雲の神楽」と題し基調講演をされました。なお、先生が長年にわたって収集されてきた研究資料が福島市内の施設に搬入され、今後は一般公開をめざしての整理がなされるようです。

他校同窓会訪問

～安積黎明高校同窓会へ～

昨年七月十一日、安積黎明高等学校同窓会を訪問し、意見交換をいたしました。藤田弘子会長と副会長の安藤みな子さん、津野千賀子さんが温かく迎えてくださり、同窓会館において、和やかな交流の時間をもつことができました。

安積黎明高校同窓会の「総会」は毎年六月に学年幹事の出席のもと行われ、八月に「安積花かつみ会総集会」を開催し、会員相互の交流を図っていることや同窓会の組織、活動協力金など、大変参考になるお話を伺うことができました。

本会からは、藤田美智子会長と副会長の桂聡子、樫村恵子が参加しました。



安積黎明高校同窓会の皆さんと

令和6年度同窓会事業報告

Table with 4 columns: 月日, 令和6年, 令和7年, 事業. Rows include financial data and a list of activities like '会計監査・第1回役員会・評議員会'.

新役員紹介

Table listing new board members: 会長 藤田美智子, 副会長 桂聡子, 監査 佐藤千代子, etc.

令和6年度同窓会総会は、六月十五日午前十一時からグリーンパレス福島において、来賓に菊池直之先生をお招きして開催いたしました。各支部代表と評議員、4のつくく学年一九五名が出席し、懇親会を行いました。...



令和6年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計予算書

収入金額 2,448,324円 自 令和6年4月1日
支出金額 2,448,324円 至 令和7年3月31日

Table of budget items for FY2024, including '会費', '雑収入', '繰越金', and '合計'.

Table of budget items for FY2024, including '会議費', '総会費', '助成費', '慶弔費', '通信費', '旅費', '事務費', '維持費', '積立金', '予備費', and '合計'.

(執行にあたっては項目間の流用を認めるものとする)

令和5年度 福島県立橘高等学校同窓会 一般会計決算書

収入金額 2,374,755円 自 令和5年4月1日
支出金額 1,756,431円 至 令和6年3月31日
次期繰越金 618,324円

Table of actual results for FY2023, including '会費', '雑収入', '繰越金', and '合計'.

Table of actual results for FY2023, including '会議費', '総会費', '助成費', '慶弔費', '通信費', '旅費', '事務費', '維持費', '積立金', '予備費', and '合計'.

監査いたしました結果、会計は適正に執行され、上記のとおり相違ないことを認めます。 令和6年4月3日

監査 齋藤千代子 佐藤 恵子



令和7年度(2025年) 総会のお知らせ

これまで総会の案内につきましては学年幹事の皆様にご負担をかけておりました。そこで、今回より案内の方法につきまして下記のように変更させていただきます。

- ① 令和7年度総会の当番学年にあたる皆様にご案内と会費納入用紙を同封します。
② 払込用紙にて会費を納入していただくことで、総会への参加申し込みとさせていただきます。
③ 申し込みメ切は4月末日とします。なおご不明な点につきましては事務局宛お問い合わせください。

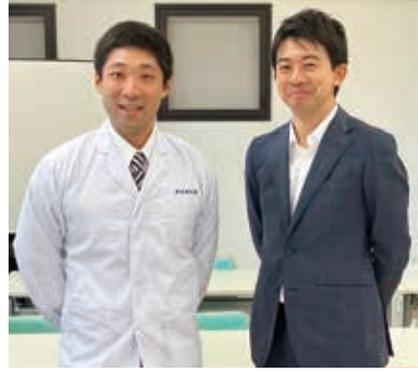
- とき 令和7年6月21日(土) 13:00~15:30
ところ 福島グリーンパレス
当番学年 卒年に5のつく学年
内容 総会・茶話会 藤岡純子さん(S51年卒)によるシャンソン
会費 2,000円

同窓会協力金 納入のお願い

毎回21,000余名の会員に会報を送っておりますが、現在振り込んでくださっている人数は1,500名前後となっております。送料はじめ諸費用値上げの中、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

1口 1,000円(以上)の振り込みを!!

同級生対談



松屋清風庵の四代目、和菓子職人の菅野翔太郎さん(写真左)、福島県教育庁教育総務課長の榎木渉さん(写真右)は平成二十年卒業の同級生。お二人に、高校時代の思い出や今の仕事などについて語り合っていました。

—お二人の出会いはいは？—

榎木 二、三年一緒だったんだよね。俺は野球部で、翔ちゃんも応援団。野球部はできて三年目で部員も同学年は十人前後だった。

菅野 俺は、応援団がなくなる話を聞いて入ることにしたんだ。女子校の応援のままでなく野球の応援には、オーケストラ部を巻き込んだりして。福女から橋になって、学校全体が手探り感もあり、過渡期だから楽しかったのかもしれないね。

榎木 過渡期って意味では、あの頃は、人数比も、男子の方が少なかったけど、个性的な人が結構いて、楽しかったよね。女子も元氣な人いっぱいいたし。

—今の仕事についてのは？—

榎木 高校卒業の時は教員になるうと思っていたけど、大学入ってからちょっと考えが変わって、教育行政のほうに行こうと思って、大学院行って、進路選択考えたけど、文科省以外イメージできなくて。

それで入ったものの、福島でなくていいのかなって思ってた。だから入省して五年目に希望して復興庁に出向して、東日本大震災のあと二年間働いたのね。今回の出向も、できれば福島行かせてくださいって。

菅野 いやあ、熱いね。

榎木 当時、この熱さなかったよね。(笑)

菅野 ひたすら野球やってる。なんかもうまっ先にグラウンドにいるイメージだった。今があるのは、やっぱり卒業後の…。

榎木 そう、紆余曲折を経て、いろんな場を踏んで考えることも増えてってことかな。翔ちゃんの選択は？

菅野 実家を継ぐか継がないかって、当時悩んだところもあったんだよね。

俺、高校を橋に決めたのは、中三の夏休みのオリエンテーションで、当時の君島校長先生の話が印象的だったんだよ。大学進学ありきではなく、「全力で夢を応援す

るから」みたいなスタンスのお話だったの。俺はずっと、必ずしも大学は単なる通過点ではないって思ってたから、その話にグツときて、ああここならいろんな選択肢が用意されている環境だなって思って。校舎も新しいから、なおさら入りたい気になって。

榎木 わかる、わかる。

菅野 冬休み、課外に出ずに、菓子どころの多い金沢に行かせてくれていて、行ったのよ。バスで。その時、お菓子って奥が深いディープな世界だし、これからの人生、一生かける価値があるんじゃないかって思って、それがきっかけだったの。やるからには、一流というか、極めたいということもあって、専門学校行かせても良かった。お菓子業界は途中で挫折しちゃう人多いんだけど、幸い人と環境に恵まれて。何とか続けられたと思う。

勤めるのと違って、実家だと自分のアレンジもきかせられるし、そこが楽しいところかな。クリエイティブなところもあるんだよね。



—これからは？—

菅野 マサワタはこれからどんな仕事をしていきたいの？

榎木 何かきれいに聞こえるかもしれないけれど、地元への恩返し気持ちはある。復興庁に希望したのも、今回手を挙げたのも。

文科省は教育・文化・科学技術・スポーツ関係も所管しているの、さまざまな分野があるけど、自分は教育メインでやっていきたい。教育っていつても、幅が広くて、生涯学習もそうだし。学校を出てからも終わらない学びを学校教育のなかでやっていくのは大事だと思ってる。



菅野 どうしても、目先のことになりがちだけど。そういう意味では、自分も一生勉強で、お菓子は正解もなにもないから。たかが嗜好品だけれど、されどってところがあって、やっぱりすごい人はいるんで。そういうのを常に探していると、自分も生涯学習やってみるのかなって。

榎木 人生百年時代、主要五教科だけじゃなく、福島県でも力入れてるのが探究学習で、自分で関心あることをテーマに設定して自分で学びを深めていくんだけど、それがまさに生涯にわたる学びの素地として必要なプロセスかなと思う。

菅野 なんかつこいな。スケールが大きくて、町の菓子屋とはだいぶ違う(笑)。

榎木 職として国家公務員は安定していいねって言われるけど、それぞれ自分が好きで選んでるし、そこに優劣はないなって昔からずっと思ってた。それぞれ自分でこの仕事のおもしろさをどこに見出すかってことだよな。

菅野 ぼくはそんなビジョンもないけど、福島で福島らしいお菓子を作りたくなって思うし、和菓子を通して日本の文化を世界に伝える活動ができればおもしろいと思ってる。

榎木 これからはワークライフバランスという面があって。仕事の面だと、地方行政で関わった縁を大事にしながら教育行政のことをやっていきたい。一方で、家庭のことに時間を使っていきたい。だから、家庭と地域とのかかわりなんかも考えながら生きていきたいって思う。

—同窓会に望むことは？—

榎木 そもそも同窓会がなかったら卒業後に縦の繋がりがなくなって生れないと思うんですね。だから大事つながりだなと思う。会報やHPで同窓会の活動を知れば協力してくれる人も出てくると思う。発信が大事なかな。

菅野 仕事や家庭をもちながら同窓会の会議に出るのはなかなか難しいから、曜日や時間帯を変えてくとも必要かなと思う。同窓会ってひとくくりにしても、世代的な範囲が広いので、橋セミナーのような生涯学習的なことをやっていけば横の繋がりが増えていくのでは。これからは維持していくだけでなく、縦から横の枝を広げていきたいですね。

お二人に語り合っていたいただいた内容を、紙面の都合上だいが割愛した部分がありますこと、ご了承ください。

全国大会出場おめでとう

◆全国大会出場◆

囲碁部

▽第48回全国高等学校総合文化祭
囲碁部門
男子個人戦 青山 聖蓮

書道部

▽第48回全国高等学校総合文化祭
書道部門 齋藤さきり

文芸部

▽第48回全国高等学校総合文化祭
文芸部門
散文 田村 美結
詩 末永 陸

山岳部

▽令和6年度全国高等学校総合体育大会
登山大会
第68回全国高等学校登山大会
団体男子 半澤 潤也 菅野 利仁
長谷川直樹 加藤 稜史
団体女子 豊島 桃奈 阿部 小侖
吾妻 和咲 石川 和香

フェンシング

▽令和6年度全国高等学校総合体育大会
男子サーブル、男子フルーレ
佐藤 柊吾

ゴルフ

▽第32回JOCジュニア・オリンピック・カップ
佐藤 柊吾

ゴルフ

▽2024年度第29回日本ジュニア
ゴルフ選手権競技
女子15、17歳の部 板垣 結叶
女子(福島県代表) 板垣 結叶

剣道部

▽2024全日本アマチュア選手権大会
安達 柊介

団体女子

▽全国高等学校剣道選抜大会
山田 芙蓉 木幡 果夢
中森 裕香 山田 倅寧
鈴木佐和子 高橋 かいり
菅野 菜月

令和六年三月卒業生の 大学合格状況と進路状況

国公立大学の合格者は百七十四名でした。令和四年度に次ぐ過去二番目の数字であり、優秀な成績を取ることができました。総合選抜型・学校推薦型で三十二名、前期・独自日程試験で百二十四名、中期・後期日程試験で十八名の合格者を出しました。難関大では東北大学に七名、東京外国語大学に一名、千葉大学に一名の合格者を出しました。県内で

は福島大学に六十名の合格者を出し、引き続き県内一位の座を守りました。公立大学へは県立医科大学には看護学部と保健科学部に二十名の合格者を出し、過去最高の数となりました。会津大学には三名の合格者を出しました。例年、後期試験直前は高校入試があるため、小論文指導や面接指導では同窓会館を利用させていただいております。このような環境があることも進路実績の大きなプラス要因となっております。同窓会の皆さまにはこの場を借りて深く感謝申し上げます。(進路指導主事 山岸 淳二)

令和6年度 入試合格状況

(4月1日現在)

国立大学			公立大学			私立大学			私立大学		
大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒	大学名	現役	過年度卒
北海道教育大	1		宮城大	2		奥羽大	2		早稲田大	1	
岩手大	4		秋田県立大	1		福島学院大	1		神奈川大	11	
東北大(経済)	1		山形県立保健医療大	1		国際医療福祉大	18		関東学院大	6	
〃(教育)	1		会津大	3		自治医科大	1		新潟医療福祉大	13	
〃(医学)	2		福島県立医科大(看護学)	12		白鷲大	9		金沢工業大	6	
〃(理学)	1		〃(保健科学)	8	1	獨協大	8		龍谷大	2	
〃(工学)	2		高崎経済大	2		文教大	1		その他の大学	44	
宮城教育大	6		東京都立大	3		千葉工業大	9		合計	406	1
秋田大	2		神奈川県立保健福祉大	1		青山学院大	1				
山形大	8		横浜市立大	1		亜細亜大	1		短期大学		
福島大(人間発達)	26		新潟県立大	5		大妻女子大	3		短大名	現役	過年度卒
〃(行政政策)	7	1	長岡造形大	2		国土館大	1		山形米沢女子短期大	1	
〃(経済経営)	17		都留文科大	2		駒澤大	2		仙台青葉学院短期大	1	
〃(共生システム)	7		長野大	1		芝浦工業大	3		桜の聖母短期大	4	
〃(食農)	3		長野県立大	1		成蹊大	1		合計	6	0
茨城大	3		長崎県立大	1		専修大	14		専門学校等		
宇都宮大	2		合計	47	1	大東文化大	9		学校名	現役	過年度卒
埼玉大	10					玉川大	2		太田看護専門学校	1	
千葉大	1		私立大学			中央大	5		大原看護専門学校	5	
東京外国語大	1		大学名	現役	過年度卒	東海大	7		仙台医療センター附属 仙台看護助産学校	2	
東京学芸大	1		盛岡大	3		東京経済大	3		ポラリス保健看護学院	1	
横浜国立大	1		仙台大	4		東京工科大	4		その他の学校	3	
上越教育大	1		東北学院大	89		東京女子大	2		合計	12	0
新潟大	18		東北工業大	13		東京電機大	1				
三重大	1		東北福祉大	36		東洋大	17	1	就職		
合計	127	1	東北医科薬科大	1		日本大	18		就職先	現役	過年度卒
			宮城学院女子大	6		法政大	4		福島県職員	1	
公立大学			東北文化学園大	3		武蔵野大	5		合計	1	0
大学名	現役	過年度卒	東北芸術工科大	4		明治大	3				
岩手県立大	1		医療創生大	4		明治学院大	5				

※表中の数字は、「合格者数」である。
※表中の「過年度卒」欄の合格者数については、既卒生徒で報告のあった人数を示している。

本年3月母校卒業生

新学年幹事

7	6	5	4	3	2	1	組
武岡山英太郎	村松悠汰	丹治咲希	鈴木璃音	渡邊温大	田村颯聖	東谷咲実	氏名
穴戸雅也	駒林友芽	大橋知世	橋爪理人	清水堃	遠藤航輝		



七月十七日校長室にて全国大会出場者への激励金贈呈式が行われました。努力を重ねた全国大会出場者へ藤田会長から激励の言葉が送られ、激励金が贈呈されました。

激励金贈呈式

なつかしき恩師



「大変革のあの頃」

菅野正美

平成11年4月〜平成20年3月
(須賀川市在住)

平成十一年四月から九年間お世話になりました。それは福島女子高校最後の四年間と橘高校新たな船出の五年間、まさに大変革の時を過ごしました。四十三歳での着任でしたので、最も活力のあった頃、溢れる思い出の中でも合唱部の目覚しい飛躍は今も鮮明に蘇ります。

輝きました。その活躍は橘高校へと名が変わっても引き継がれ、十数年に渡り全国の合唱名門校に名を連ねました。音楽の授業も豊かな感性を持った生徒たちとともに、本当に幸せな時間を過ごしました。各学期末の音楽実技試験は「自身の音楽性を十分に発揮できるもの」とし、多彩で自由な演奏が繰り広げられました。歌、ピアノ、管弦楽器、箏、和太鼓まで登場し、担任や学年の先生方も聴きに来るほどでした。もったいないので音楽室を飛び出し、音楽堂大ホールでの発表会を開き、新校舎になってからは図書館前の吹き抜けスペースで「エントランスコンサート」を行いました。秋の昼休み、響きの良い空間に生徒たちの美しい音楽が広がり、二階三階の廊下には鈴なりになって友の演奏に聴き入る生徒たちの姿、それは音楽芸術への意識の高さであり、その様子はまるでオペラ座の光景の一コマの様に脳裏に焼き付いています。

十七名の部員たちでした。しかしその目の輝きは百名にも匹敵する眩しさがありました。彼女らは懸命に新入生を勧誘し、三十名の部員を集めて四十七名でスタートを切りました。翌年もまた三十名、三年目には何と八十八名の大所帯が音楽室狭しと活動しました。メキメキと力を付けた福女合唱部は名古屋で開催された全国大会の檜舞台に立ち、十七年振り四度目の金賞に

最後になりましたが、合唱部を支えてくださった平岩先生、二瓶先生はじめ諸先生方、温かくご支援くださった保護者の皆様、同窓会の皆様への感謝は尽きることがありません。



恩師と多くの友に 支えられて

半澤 トシ (昭和36年卒)

高校時代に好きな国語の授業に出会ったことは、幸せなこと

マイドリーム・マイロード ―活躍する先輩・後輩―

でした。田中収先生の古典文法の授業でしっかり基礎を学び、何げなく話す言葉が整然とした規則で成り立っていることに驚きを感じたものでした。夏期講習で岡崎一先生の板書を写し、帰宅して眺めた日本文学史は今も脳裏に浮かんでいます。

大学二年になる時は、迷わず日本文学科に進みました。万葉の五味知英先生、笹淵友一先生の文学概論から多くを学び、卒論を「枕草子」に決めると、大学では法政大学の松田武夫先生を紹介してくださいました。各々の先生から貴重なお話をたくさん伺いました。大学卒業後帰福して教えを頂ける先生が見つからず、丸山キヨ子先生のお誘いで、月一度ご自宅に伺い、「源氏物語」の講読に通いました。そんな時、家庭の主婦や

読書好きな友人たちと古典の読書会を始めました。「伊勢物語」から「枕草子」「かげろふ日記」等を読み、和泉式部伝説の旅、山形・宮城の歌枕の旅等楽しい思い出を作りました。日本古典文学に感動し、千年以上前の日本人の心やさしさに打たれたものでした。



東雲 紀子 (平成5年卒)

私は、アニメ「キャンディ」に憧れ、小さな頃から看護師を目指しました。福女時代は、毎日友人たちと笑い合い楽しく過ごした思い出ばかりで、当時の先生方には少し申し訳ない気持ちもあります。福島医大附属病院に就職してから、ICUや循環器病棟勤務を経験し、心臓病専

それぞれの マイロードを支える

門の看護師になりたいと考え、「慢性心不全看護認定看護師」の資格を取得しました。現在は、日々の患者ケアのみならず、学生への講義や福島県循環器病対策推進委員、日本DMAT隊員としても活動しています。

私は、目の前の患者さんのその時だけに向き合うのではなく、その人のたどってきた過去、今、そして未来までの道のりを見通し、「疾患を抱えながらもその人らしい生活や生き方」を支えることを大切にしています。医療は日々進歩し社会とも密接に結びついており、自分の知識向上やブラッシュアップが必要です。今になって勉強する機会がありがたみを実感しました。一方、私は二十代で長男を、十六年後に長女を出産しました。母親になるのは、人生で本当に素晴らしい体験のひとつです。しかし、働く女性に子育てと仕事の両立問題があるのも事実です。子育てだけでなく介護を抱えている方もいます。将来、これらのサポートに関わっていききたいという夢もあります。その人それぞれのかけがえのないマイロードを、看護師の立場でどのように支えていけるか考えながら、今後とも精進していきたいと思っています。

東雲 紀子 プロフィール

福島県立医科大学附属看護学校卒
福島県立医科大学附属病院在職中
北里大学キャリア開発センターで
慢性心不全看護認定看護師資格取得
日本DMAT隊員

学年だより

若さ甦る学年会

八島芳賀(美恵子) (昭和34年卒)

昭和三十四年三月に卒業して、いつの間にか六十五年が経っていました。

在学中の三年間は、「講座選択制」や「超学年ホームルーム制」が導入されていて独特な時代でした。

そのためと思われませんが、同級会というよりも学年会の方がしつくりくるようで、学年会の名称は、卒業年に因んで「花たちはな三四会」と、楽しく親睦を重ねてきました。

第一回は、高校卒業二十年後の昭和五十四年に開催され、その後は毎年とはいきませんが、現在まで十一回を開催してきました。

平成二十七年の開催の時は、八十名を超える会員が集い大盛況となりました。有志の方の舞踊や歌などが披露された後は、待ちに待った懇親会に花が咲き、時のたつのを忘れるほどの賑わいでした。心は、花たちはなの乙女のままでした。



昭和34年卒

十年振りに

村越(打地)良子 (昭和44年卒)

コロナ禍が一応去った今年の同窓会。私たちは七十代。今回の出席者は三十三名。懐かしい友人たちと大いに盛り上がり、交流を楽しみました。十年後に、また会いましょうね。どうぞお元気で。



昭和44年卒

懐かしい時間

高橋 優子 (平成4年卒)

十年に一度の同窓会。幹事会の連絡が来ると、あっとい間の時の流れに少し驚き、そしてまた級友に会える喜びにドキドキします。十年前の同窓会は、高校卒業後、初めての参加でした。幹事としての初めての仕事に戸惑いながら、先輩方のサポートでなんとか同窓会を終えることができました。

そして、今回が二回目の同窓会参加。準備のために幹事の皆さんと久しぶりに顔を合わせると、当



平成4年卒

時の話に会話が弾み、あっとい間に時が過ぎてしまいます。当日は、前回会えなかった同級生に会うことができ、懐かしい時間を過ごすことができました。出席していただいた古川洋子先生、ありがとうございました。十年後は私たちも還暦を迎える歳となります。今年は残念ながら参加できなかつた恩師の先生方を始め、多くの級友に参加していただけるのを心待ちにしています。

支部一覧

支部名	支部長	卒年
東 たちばな会	赤田(石川) 路子	昭56
郡山福桜会	佐藤(山崎) 久子	昭33
会津	五十嵐(岩崎) 英子	昭44
須賀川牡丹会	加藤(村上) 良子	昭33
二本松福松会	大内 都	昭44
本宮支部	根本(嶋原) まき	昭50
保原	舟山(栗原) 由美	昭40
川原(事務局)	氏家(六戸) チイ子	昭39
飯坂	佐々木(佐藤) 米子	昭30
福島県庁	吉成(橋) 宣子	昭59
福島市役所	國分(木村) 恵美	昭59
たちばな会	永島 晶子	平9

なつかしのあの顔この顔



昭和53年卒いつみ会 令和6年11月2日 飯坂温泉摺上亭大鳥 恩師3名、同窓生49名参加



福女バスケット部顧問 今泉慶子先生の傘寿を祝う会 令和7年1月3日 TORATTORIA BACCANO 20名参加

お慶び

昭和49年卒 大塚 真理 様
改組新第11回日展第5科書入選

寄付金・寄贈書紹介

平成27年卒10期同窓会より
22,300円
昭和54年卒 目黒 雅子 様
著書「会津のわらべうた」
平成20年卒 原田くるみ 様
絵本「一〇〇年のあんば柿」

異動手続きのお願い

住所等に変更のあった方は事務局へお知らせください。正確を期すため必ず書面で下記のいずれかをお願いします。

- 協力金振込用紙通信欄
- ホームページ お問い合わせフォーム
- ファックス ●ハガキ

同窓会事務局

〒960-8011 福島市宮下町7番41号
電話番号 024-572-5805 (水曜日のみ対応)
FAX番号 024-572-5806



会報バックナンバーは同窓会ホームページでご覧頂けます。

あとがき
この会報で、先輩後輩の活躍や様子をお知らせすることにより、同窓会活動に関心をもっていただけるよう今後も努めてまいります。